

報道各位

2016年12月1日
住友商事株式会社
住商機電貿易株式会社

タイ発電公社向け大型変電所受注について

住友商事株式会社（本社：東京都中央区、取締役社長：中村邦晴、以下「住友商事」）と住商機電貿易株式会社（本社：東京都中央区、取締役社長：関根豊、以下「SMT」）は、タイのチャチューンサオ県にあるチャチューンサオ 2 変電所（500 キロボルトおよび 230 キロボルト ガス絶縁開閉装置タイプ、以下「本変電所」）の土木据付込み一括請負工事契約の受注活動に取り組み、今般、住友商事とタイの Black & Veatch Thailand 社（以下「BV」）、Italian-Thai Development 社（以下「ITD」）のコンソーシアムが、タイ発電公社（Electricity Generating Authority of Thailand、以下「EGAT」）より、受注しました。

本変電所の受注については、SMT の積極的な販促活動により、商務面および技術面の双方から高い評価を受け、発注に至ったものです。契約金額は約 42 億円で、2018 年 11 月に完工予定です。住友商事はコンソーシアムリーダーならびに 500 キロボルトおよび 230 キロボルト ガス絶縁開閉装置一式の輸出を担当し、BV は設計・その他変電所設備の供給、ITD は土木・据付工事を担当します。

タイでは 2014 年から 2036 年までの年平均経済成長率が約 4 パーセントと見込まれています。高まる電力需要を受け、政府は 2030 年までに発電容量を倍増させる計画を立てており、安定した電力供給のためには送変電網設備の強化が喫緊の課題です。本変電所はタイの超高圧基幹送変電網整備の一環で整備されたものであり、工業団地が多く電力需要が大きいバンコク東部へ電力が供給されます。完工後はバンコク圏への電力の安定供給とタイの経済発展に寄与すると同時に、最新設備を導入することで効率化および省スペースを実現し、環境負荷低減にも貢献していきます。

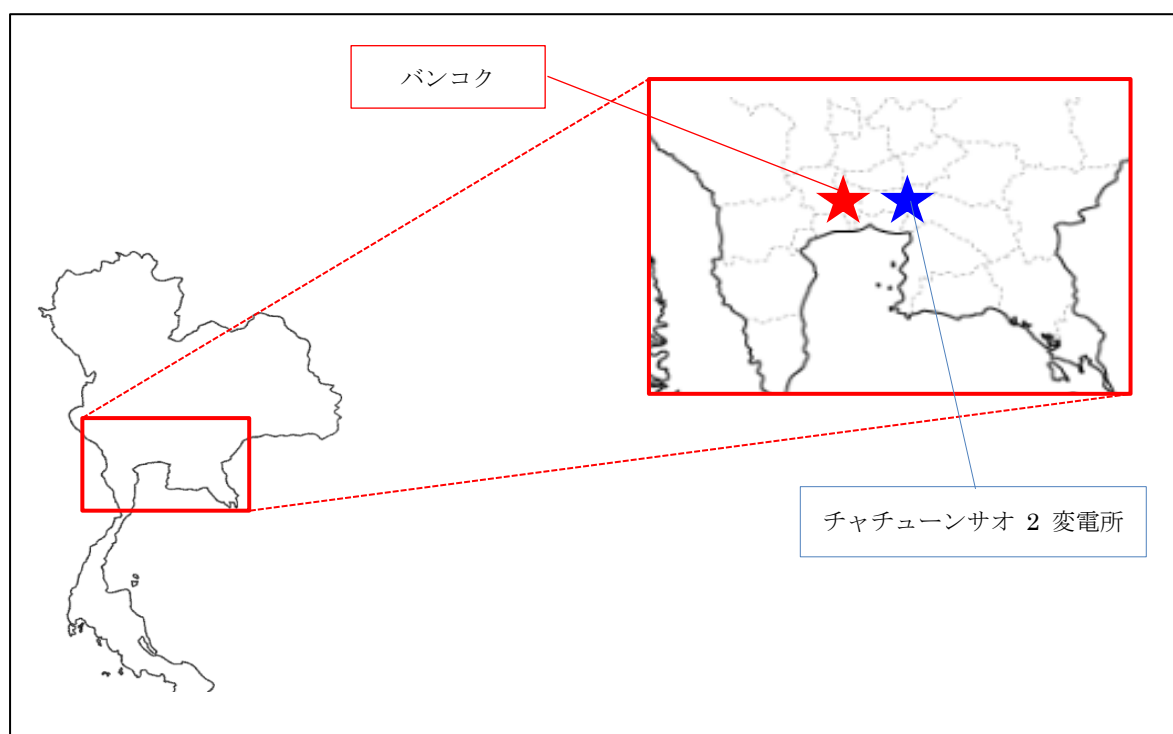
住友商事と SMT（以下「住友商事グループ」）は、タイを東南アジア市場戦略の重要市場の一つに位置付けており、発電分野では EGAT 向けにノースバンコク複合火力発電所 1 号機を 2010 年、ノースバンコク複合火力発電所 2 号機を 2016 年 1 月に完工し、変電分野でも 500kV 変圧器 24 台の納入契約を履行中です。また、タイ市場以外でも積極的に送変電ビジネスを展開しており、特に中近東やアフリカではバーレーン・UAE・南アフリカを中心に 2000 年以降、1000 億円以上の案件を受注し、着実に履行してきました。

今後、世界の市場において新規発電所および送変電網の建設が計画されています。住友商

事グループは電力インフラ関連のビジネスを拡大し、高効率・高品質で環境性能にも優れたエネルギーシステムの供給に取り組み、地域の経済発展に寄与していきます。

■参考資料①

変電所位置図



【本件に関する問い合わせ先】

住友商事株式会社 広報部 報道チーム 山脇／野口

TEL : 03-5166-3100

住商機電貿易株式会社 人事・総務部 安江

TEL : 03-5144-9015